

総務部長の仕事宣言！

総務部長 野田 寿

1. リーディングプロジェクト実現のための部局の基本姿勢

総務部は、人事、文書、財政、契約など庁内の適正な事務執行体制を確保する内部管理事務を中心に、市民の安全安心を確保する防犯・防災対策なども担当している。市民の皆さんの満足度が高く、質の良い行政サービスを提供するために、全職員の意識や能力を高め、変化に即応できる市役所としなければならない。また、今後、社会保障費の増大や地方交付税が縮減されるなど財政状況がより一層厳しくなることが見込まれる中、駅周辺整備、ごみ処理施設整備、新産業集積エリア事業の実施など大型の事業が予定されており、中長期的な財政見通しを見極めつつ、戦略的な施策の重点化を行うなど、持続可能な財政運営を図っていく。

2 リーディングプロジェクト10の内容

- リープロ10の名称〔9市民に信頼される市役所づくりプロジェクト〕
 - ①防災体制の充実を図ります（2－7）（担当課：総務課）
 - ②組織・人材の活性化を図ります（6－3）（担当課：総務課）
 - ③適正な財政運営を行います（6－4）（担当課：財政課）

3 リーディングプロジェクト 10 の行動目標

●リープロ 10 の名称〔9 市民に信頼される市役所づくりプロジェクト〕

具体的取組名「防災体制の充実を図ります」

平成 23 年東日本大震災、平成 24 年九州北部豪雨、平成 26 年広島市土砂災害、本年 4 月の熊本地震など大規模災害が発生している。また局地的なゲリラ豪雨による浸水、山間部の土砂災害など発生可能性もある。災害から市民の生命と財産を守るため、今後とも防災計画に基づく防災体制の充実を図っていく。

○指標

自主防災訓練回数 現状 14 回/年 ⇒ 平成 32 年度目標値 24 回/年

○平成 28 年度に具体的に何をしていくのか

平成 27 年度は市地域防災計画の見直しを行った。平成 28 年度は災害発生時の各種マニュアルや業務継続計画の整備を行う。また、町区単位と並行して地区単位での防災訓練も実施していく。

具体的取組名「組織・人材の活性化を図ります」

市民ニーズに応えられる行政運営の実現を基本姿勢として、組織機構の見直し及び効果的な職員研修を行うことで、組織・人材の活性化を図っていく。

○指標

職員研修受講者数 現状 883 人 ⇒ 平成 32 年度目標値 1,000 人

○平成 28 年度に具体的に何をしていくのか

基本的には職員研修プログラムに沿って、内部、外部研修を含め、職階に応じた研修を実施していく。また、27 年度に引き続き普通救命講習、認知症対策講座、女性対象にキャリアアップ研修を行い、28 年度は新規にセクハラ防止研修を追加する。

具体的取組名「適正な財政運営を行います」

大型事業を実施するにあたり、増大する財政需要に対応し、持続可能な財政運営を維持するため、新規・既存事業の再検証を行いながら、地方債など適正な管理に努め、財政の健全化と効率化を図っていく。

○指標

実質公債費比率 現状 11.5% ⇒ 平成 32 年度目標値 現状維持

○平成 28 年度に具体的に何をしていくのか

将来の歳入、歳出及び地方債管理の見通し立てながら、新規・既存事業の費用対効果、必要性の検証を行っていく。